

作成日: 3月9日

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者: 小嶋

会議名: 平成29年度 第2回まるごと活性化会議(全体会)

日時: 平成30年3月7日(水)午後7時30分から午後9時まで

場所: 玉津会館 研修室、他

出席者: 27名(プロジェクトメンバー)

出席者(行政): <玉津会館>富田館長、前田指導員、小嶋<守山市役所>地域振興・交通政策課:木下係長
文化財保護課:福島主任

議題

全体会議

(1) 平成29年度の実績報告について

(2) 平成30年度の実施計画について

(3) その他

プロジェクト別会議

(1) 平成30年度事業計画(日程・内容など)について

会議要旨

内容

(1) 全体会議

・事務局より平成29年度の実績報告を行った。

Aプロジェクト→まるごと歴史散策ウォーク、語り部部会および小菊同好会での活動など

Bプロジェクト→赤野井湾クリーン大作戦、屋形船体験、漁業体験、学区民でのつどいでの環境啓発コーナーなど

Cプロジェクト→矢島かぶら料理教室、野菜直売所の開設、納豆作りなど

Dプロジェクト→ホテル飛翔状況調査、ホテル学習会、長刀まつりDVD作製など

Eプロジェクト→地区計画の支援など

・事務局より次年度の実施予定について説明し、決定については分科会に委ねることとした。

【質疑応答他】

・地域振興・交通政策課より、まちづくり助成金(各学区300万円上限)の申請については自治連合会にかけの必要があり、遅くとも8月、出来れば6月の連合会にかけていただきたい。

・小菊部会より諏訪家屋敷の菊の展示台を置きたいという件、お聞きしているか。→確認する。

・(まちづくり助成金に)諏訪家屋敷まつりなどイベントに必要な備品とあるが、諏訪家屋敷で従来必要な備品はどうするのか。→市で整備する。市の方で必要な備品は精査し、次年度に購入する。

・まるごと活性化事業は今後どうなるか→続けたい事業、区切りをつけたい事業、どこか(まちづくりなど)に組み込む事業など精査し、続けるものに関しては続けるための支援を平成30年度に考える。(居住、担い手育成、高齢化抑制などに観点を置きながらと考えてるが、今のところははっきりとはしていない。)

・次年度の玉津学区の助成金の100万で要求している中(魅力アップ事業)で、1自治会20万円であり、より大きな事業をやりたいと思ったときに、20万円を超えそうな場合はオーバーしてもいいのか。→助成金の枠が1学区300万円であり、その枠を超えることはできない。玉津学区の場合は平成29年度におよそ150万円を使用済みのため、残りはおよそ150万円であるのでその中で対応する必要がある。

(裏面に続く)

決定事項

平成29年度の事業報告のご承認をいただいた。

次回以降について

玉津ホテル祭り・イベント推進プロジェクト 5月7日(月)午後7時30分から
食の地産地消推進プロジェクト 5月10日(木)午後7時30分から

会議要旨

内容

・諏訪家屋敷との関わりについて→現在、7月1日のオープンに向けている諏訪家屋敷であるが、守山市文化体育振興事業団を指定管理者として管理していく。現在、議会にかけており、承諾されたのちに、ようやく本格的なお話ができるのではないかと思います。

【分科会】

・全体会議終了後、分科会を実施。各プロジェクトごとに分かれ、次年度の計画等を協議いただいた。

Aプロジェクト→諏訪屋敷や各部会の活動方向について協議を行った。

Bプロジェクト→赤野井湾クリーン大作戦、屋形船体験、漁業体験などを実施予定。

Cプロジェクト→直売所は6月2日(土)より行う。他に料理教室や研修、納豆作りなどを継続して行う方向となった。

Dプロジェクト→各自治会でホタル学習会を実施する。他にホタルの飛翔状況調査などについての協議を行った。